

備前市事務事業評価シート

(平成25年度事業)

事業の概要		事業開始年度	昭和49年～	根拠法令・例規等	備前市ごみ置場整備改良事業補助金交付要綱等	
総合計画	大項目	基本構想	05	生活環境政策「快適・活力」	環境課	
	中項目	基本計画	09	環境を大切に未来につなぐまち		
	小項目	施策	38	一般廃棄物の適正処理と省資源・循環型社会の構築		
事務事業名		03	生活環境改善事業		このシート作成に要した時間	2.0 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	清潔で快適な暮らしを求める市民	
目的(何のために)	地区が管理するごみ置場、共同基地の整備費用の一部を補助する事により、生活環境の改善及び使用者の利便を図る。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	ごみ置場を設置することにより、収集効率が向上し、環境美化が図れる。地区管理基地が整備されれば、利用者の利便が向上する。	

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績		事業の説明		優先度
目的を達成するために実施した事業	細事業名	環境衛生改善補助事業	ごみ置場、ごみ置場給水施設の設置に伴う補助金の交付(ごみ置場整備改良事業補助金) 資源回収ステーション設置に伴う補助金の交付(資源回収ステーション設置事業補助金) 共同基地の水道施設設置、駐車場施設設置及び墓参道整備工事に伴う補助金の交付(地区管理基地整備補助金)	◎

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
決算額	事業費	千円	14,278	7,154	7,144
	必要人員	人	0.03人	0.11人	0.24人
	必要人員	人	238	955	1,902
	事業費	千円	14,516	8,109	9,046
財源	国庫支出金	千円			
	受益者負担	千円			
	繰入金	千円			
	市債	千円			
その他()	千円				
一般財源	千円	14,516	8,109	9,046	
受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
結果指標	結果指標	ヶ	6	16	13
	対前年比	%	-	266.7%	81.3%
	活動コスト	円	853,260	2,003,920	1,809,754
	単位当たりコスト	円	142,210	125,245	139,212

事業の成果		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
成果指標名	目標値(A)		18	18	18	18
	実績値(B)		6	16	13	到達目標値
ごみ置場整備改良事業におけるごみ置場設置数		達成率(B/A)	33.33%	88.89%	72.22%	18
成果指標設定の考え方・式や説明						
ごみ置場及び給水施設設置数 ※到達目標値について、各地区(9地区)で年間2件の設置を目標とする。						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ←「コピー」して「貼り付け」してください >		Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input checked="" type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である	<input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やいい 高 低い
	市民ニーズ			B
効率性の評価	コスト	<input type="checkbox"/> 単当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている		効率性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やいい 高 低い
	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している		有効性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やいい 高 低い
市民参画度				B

事業の目的、意図する成果とつながる成果指標を設定

進行年度(H26年度)の改革改善内容		状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明				○					
説明		家庭ごみの収集について、「拾い」(ごみ集積所ではなく、各家庭ごとに収集を行うこと。)が依然として目立つ。環境衛生指導委員と協力し、ごみ集積所設置場所の検討を行い、未整備地区への設置数の増加を図る。資源回収ステーションの設置の推進を図る。							

総合評価		総合評価
設置(補助)数は進んでいるものと思われるが、片上・伊里地区において、「拾い」が依然として目立つ。予算にも限りがあるが、要望を踏まえつつ、緊急性のある地区、未整備地区を重点的に整備を進めていき、最終的に「拾い」ゼロを目指す。資源回収ステーションの設置を図り、ごみの減量化・資源化の推進を図る。		総合評価 ABCDE 高や普や低 いや通やいい 高 低い
		B

平成27年度の方向性・取組目標		方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標				○					
取組目標		・「拾い」の集約化及びごみ集積設置場所の選定など緊急性のある地区、未整備地区の整備を進め、最終的に「拾い」ゼロを目指す。 ・備前地域全域に資源回収ステーションの設置を図り、ごみの減量化・資源化の推進を図る。							

Action